

# 人の不幸を踏み台にする**カジノ**には



## 巨大開発のムダが必ず付いてくる!

権限・財源を知事が一手に握る

「大阪都構想」のねらいは  
巨大開発の推進です

大阪万博は2025年ですが、R・カジノはその一年前の2024年に開業する計画です。夢洲まわりの構想案。万博開催期間の来場者数を185日間で3000万人と見込んでいますが、人工島の夢洲に一日当たり15〜16万人も運ぶためには鉄道の敷設や道路の拡張など巨大インフラ整備を伴います。

大阪市を解体して権限・財源を知事が一手に握る「大阪都構想」のねらいはこの巨大開発の推進です。バブルの時代に戻してはなりません。



住吉市民病院は  
二重行政ではありません

大阪市は「住吉市民病院(住之江区)は二重行政のムダ」(橋下前市長2011年当時)の一言で廃止を決定しましたが、二重行政でもムダでもないことが明らかになってい

ます。跡地に名乗りを上げた南港病院は、設計上のミスで開院が2年先延ばしになり、小児科医師の確保もめどが立っていません。医療空白を生まず、住吉市民病院が担ってきた福祉的医療を継続するためには公的病院の設置こそが市民のために必要です。



直ちに  
学校給食無償化を  
中学校援助全額に

大阪市が実施した子どもの貧困調査で、大阪市は府下自治体より経済的状態が厳しく、就学援助、生活保護の捕捉率を上げる必要がある

と報告しました。給食費の無償化、中学校の就学援助を半額から全額にすることは緊急の課題です。